

【酸塩基平衡の具体的な読み方】

- ①pH
- ②PaCO₂、HCO₃⁻をもとにpHが偏っている原因を推定
- ③代償性変化を計算、妥当か判断
- ④代謝性アシドーシスが存在している場合、AGを計算
- ⑤AG > 12の場合、補正HCO₃⁻を計算
- ⑥BEも確認



【まとめ】

- 血液ガスより得られる情報は
 - 呼吸状態
 - 酸塩基平衡
- 肺以外にも循環状態を含めて、全身を評価できる
- 血液ガスの数字だけでなく、**患者の臨床経過及び情報に合致するかどうかを考えることが重要**
- 得られる情報が多く、急性期の診断・治療方針決定に有用